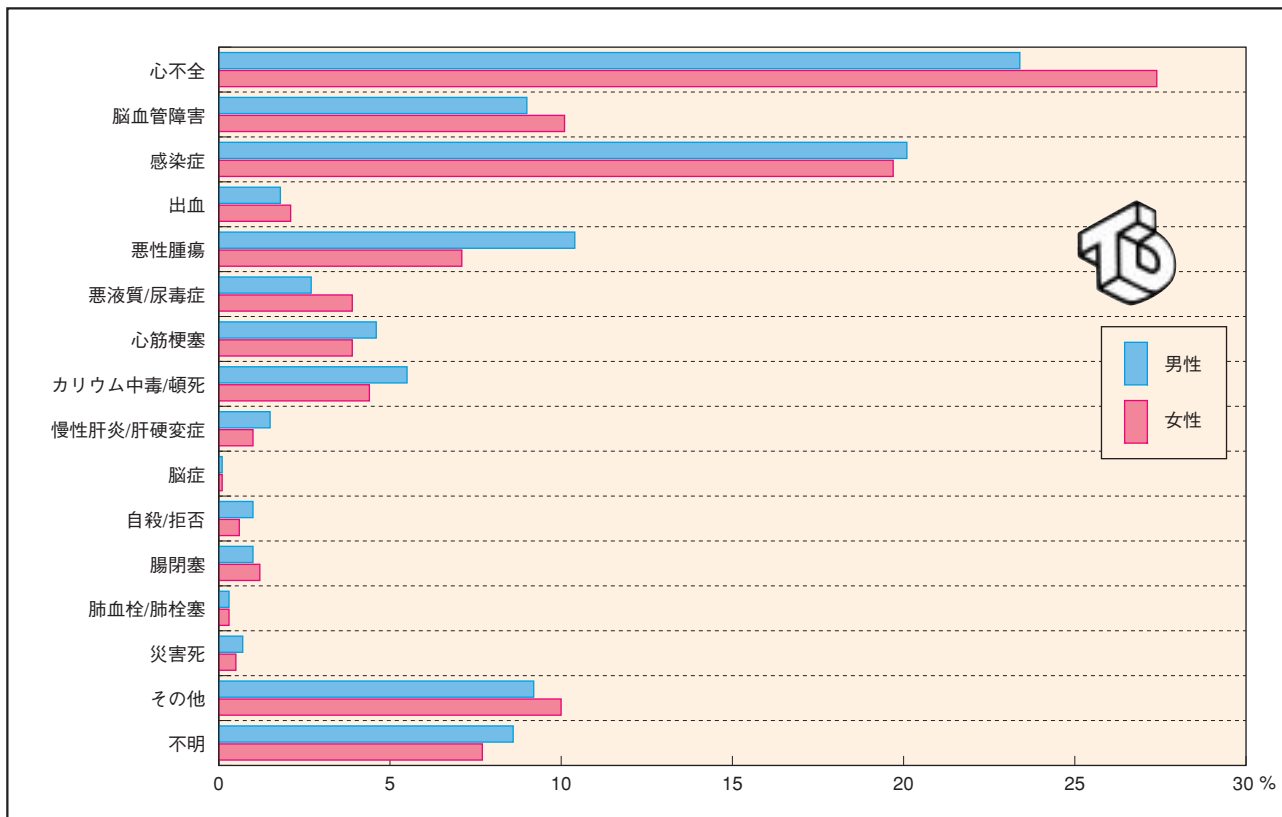


5) 死亡原因

(3) 2006年死亡患者の死亡原因分類 (図表18)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	3,237 (23.4)	2,234 (27.4)	5,471 (24.9)		5,471 (24.9)
脳血管障害	1,249 (9.0)	823 (10.1)	2,072 (9.4)	1 (33.3)	2,073 (9.4)
感染症	2,769 (20.1)	1,604 (19.7)	4,373 (19.9)	2 (66.7)	4,375 (19.9)
出血	247 (1.8)	171 (2.1)	418 (1.9)		418 (1.9)
悪性腫瘍	1,435 (10.4)	582 (7.1)	2,017 (9.2)		2,017 (9.2)
悪液質/尿毒症	367 (2.7)	315 (3.9)	682 (3.1)		682 (3.1)
心筋梗塞	642 (4.6)	316 (3.9)	958 (4.4)		958 (4.4)
カリウム中毒/頓死	755 (5.5)	363 (4.4)	1,118 (5.1)		1,118 (5.1)
慢性肝炎/肝硬変症	213 (1.5)	82 (1.0)	295 (1.3)		295 (1.3)

死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
脳症	9 (0.1)	8 (0.1)	17 (0.1)		17 (0.1)
自殺/拒否	137 (1.0)	52 (0.6)	189 (0.9)		189 (0.9)
腸閉塞	143 (1.0)	99 (1.2)	242 (1.1)		242 (1.1)
肺血栓/肺栓塞	37 (0.3)	21 (0.3)	58 (0.3)		58 (0.3)
災害死	103 (0.7)	42 (0.5)	145 (0.7)		145 (0.7)
その他	1,273 (9.2)	817 (10.0)	2,090 (9.5)		2,090 (9.5)
不明	1,192 (8.6)	629 (7.7)	1,821 (8.3)		1,821 (8.3)
合計	13,808 (100.0)	8,158 (100.0)	21,966 (100.0)	3 (100.0)	21,969 (100.0)
記載なし	111	65	176		176
総計	13,919	8,223	22,142	3	22,145

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

解説

2006年死亡患者の死亡原因分類

年間の死亡者数は透析患者の増加とともに経年的に増加している。2006年では22,145人が死亡し、2005年と比較して199人の増加であった。この理由として、高齢者と糖尿病性腎症患者の増加が推測される。

2006年の死亡原因は、心不全(24.9%)、感染症(19.9%)、脳血管障害(9.4%)、悪性腫瘍(9.2%)の順となっている。性別による比較では、男性で感染症と悪性腫瘍が若干多いこと、女性で心不全と脳血管障害が多いことが明らかにされた。女性のほうが心血管合併症が多いのかもしれない。